

大塚家具 高級高齢者施設ビジネスで中商経聯(北京)商貿と合意 家具・内装業務を提供、第一号は年内に着手へ

総合インテリア販売の株式会社大塚家具（本社:東京都江東区、代表取締役社長:大塚久美子、以下当社）は、北京華連集団投資股份有限公司（本社北京市、吉小安董事長）などが出資する合併企業、中商経聯(北京)商貿有限公司（本社：北京市、楊坤董事長）と、同会社が運営する高級高齢者施設に家具や内装業務を提供することで合意しました。

このほど北京を訪れた代表取締役社長の大塚久美子が、中商経聯(北京)商貿の宮干海總經理と契約書を取り交わしました。同会社は今後、北京を中心とした中国国内の高級高齢者住宅を建設し、保有・運営する計画です。当社は、そこに大塚家具ならではの上質な家具の提供と、洗練された内装業務を展開していく予定です。既に当社が関わる具体的なプロジェクトを選定、第一号は年内をめどに手掛けることになる見込みです。今後も継続的にプロジェクトに携わってまいります。

中国では65歳以上の人口は、昨年末で全体の11・9%の1億6658万人にのぼります。この比率が27%に達する日本ほど深刻ではありませんが、2030年までには、中国でも全体の5分の1が65歳以上になるとの推計もあります。富裕層を中心に高齢者施設のニーズは高いとみられ、国策のもとに大企業中心に高級高齢者施設の建設・運営に積極的に乗り出しています。

中商経聯(北京)商貿有限公司は、国際貿易や商業施設、介護施設の管理運営などを営む会社で、現在介護施設設計や備品選定に力を入れています。既に中国で43の高齢者施設を保有しています。

中商経聯(北京)商貿有限公司に出資する北京華連集団投資股份有限公司は、中国商務部の支援を受けている大手小売企業15社のうちの1社で、国際小売業協会（IADS）の唯一の会員です。現在、上場企業2社、シンガポール上場企業REIT1社のほかいくつかの持ち株会を所有しています。

中商経聯(北京)商貿有限公司には、中国で鉄道や高速道路、ビル等構造物などを建設請負する企業のグループ会社も出資しており、十分な資金力を持っています。

